

1号議案

平成27年度

事業報告書

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

公益財団法人 政策医療振興財団

I 事業概要

本財団は、国民保健の円滑な実施に資するため、国の医療政策として行う医療（以下「政策医療」という。）に関し、研究の助成等を通じ、その振興を図るとともに、あわせて政策医療を担う人材の福祉の増進に寄与することを目的として設立された財団であり、平成27年度の事業概要は、次のとおりであった。

1 公益事業

(1) 研究助成・国際会議等出席支援事業

ア. 研究助成事業

政策医療に関する研究の向上を図り、あわせて政策医療の効果的かつ効率的な推進に資することを目的に、政策医療に取り組んでいる看護師及びコメディカル部門等の研究者に対し、研究費の助成を行った。

助成の対象は、薬剤、診療放射線、検査、栄養、看護・看護教育及び事務等の各部門を中心に政策医療の振興及び患者サービスの向上に資する目的の研究に助成を行った。

イ. 国際会議等出席支援事業

政策医療の振興のため海外において、研究成果の発表、討議、施設調査並びに国際学術会議等に出席する者に対し、調査研究旅費の助成を行った。

支援の対象となる者は、がん、循環器病、精神・神経疾患、成育医療、国際的な感染症等の政策医療に関する診断治療、調査研究について実績が高く評価され、その専門分野において施設を代表するに値する者に助成を行った。

(2) 出版普及事業

ア. 医療の広場

国立ハンセン病療養所、国立研究開発法人国立高度専門医療研究センター及び独立行政法人国立病院機構等を結ぶ機関誌「医療の広場」は、掲載内容等も従来からの研究活動や学会発表による業績紹介に留まらず、国の政策医療情報、医療事故、医療裁判事例などの情報発信、また、医療施設や社会福祉施設間を結ぶ情報誌として施設の活動状況、各業務への取り組み状況を発信する場としての誌面づくりを行った。

イ. 外国人用診療ガイド

全国の医療機関でも悩みとなっている多国間言語について、救急患者窓口や初診受付窓口で指さし表示による受診可能ガイド冊誌として英語、ハングル語、中国語などで構成し第二版として出版した 11 カ国語に、新たにロシア語を加えた 12 カ国語で編纂し、救急医療施設のみならず個人病院、クリニックの他大学附属病院、公的病院、行政機関(消防署、保健所、県や市の衛生部医務課)等幅広く、1冊 2570 円で提供した。

(3) ボランティア支援事業

政策医療の振興に資するため、社会福祉法人や国立病院機構等医療機関等において、施設自らの自由意志に基づき、重度心身障害児(者)及び筋ジストロフィー児(者)並びに 20 床以上の緩和ケア病棟を有する施設に対し、療養環境におけるサービス等に対する支援を行うために必要なボランティア活動費及びボランティア受け入れのための環境整備費に対して助成を行った。

2 収益事業

医療関連監修事業

各医療機関においては患者サービスの向上の観点から、病院・クリニッ

クの待合室や外来待合時間に苦慮していることから、テレビを放映するなどを利用して対応している。そのテレビ放映と同様にテレビ掲示板(電光掲示板)でその日の診療案内や医療に関連した各種情報を提供されているが、当財団は、患者サービスの質的向上に貢献するため、そのコンテンツを監修し保健医療に対する啓もう、普及を引き続き行った。

3 その他の事業

日本小児総合医療施設協議会事業

日本小児総合医療施設協議会は、小児総合医療施設の医療、研究、教育、社会活動を支援し、国際的水準の小児医療の確保、普及に努めるとともに、現在及び未来の子どもとその家族の心身の健康水準の向上をめざすことを目的に組織されたものである。

当財団では、この日本小児総合医療施設協議会の事務局として次の業務を行った。

- ① 日本小児総合医療施設協議会総会及び幹事会並びに看護部長部会等各部会の開催支援事務
- ② 小児総合医療施設医療機能調査等事務
- ③ 会員の入退会等会員管理及び会費の徴収事務

Ⅱ 総務報告

1. 理事会の開催

(1) 平成27年第2回理事会

- 開催日 平成27年6月1日(月)
開催場所 スクワール麴町
出席 10人(理事8人、監事2人)
議題
1) 平成26年度事業報告の件
2) 平成26年度決算報告の件
3) 評議員会の開催日に関する件

(2) 平成28年第1回理事会

- 開催日 平成28年3月14日(月)
開催場所 スクワール麴町
出席 9人(理事7人、監事2人)
議題
1) 平成28年度事業計画の件
2) 平成28年度収支予算の件

2. 評議員会の開催

(1) 平成27年第1回評議員会

- 開催日 平成27年6月15日(月)
開催場所 スクワール麴町
出席 8人
議題
1) 平成26年度事業報告の件
2) 平成26年度決算報告の件

Ⅲ 事業報告

(1) 研究助成事業

平成27年度の研究助成事業については、次の7部門から53課題の応募があった。

薬剤部門	10課題
診療放射線部門	10課題
検査部門	3課題
栄養部門	2課題
看護・看護教育部門	20課題
事務部門	1課題
医療社会事業等	7課題

平成27年6月9日(火)開催の研究助成金選考委員会において、

薬剤部門	6課題
診療放射線部門	5課題
検査部門	3課題
栄養部門	2課題
看護・看護教育部門	12課題
事務部門	1課題
医療社会事業等	1課題

の30課題を平成27年度の研究助成事業として決定し、助成した。

なお、平成26年度の研究助成事業については、24課題の研究成果について平成26年度研究助成事業報告書として取りまとめ、関係各医療機関あて送付した。

平成27年度研究助成金選考委員会

委員長	埜中 征哉	(独)医薬品医療機器総合機構
委員	大澤 繁男	鎌倉女子大学家政学部管理栄養学科
委員	大塚 次男	前国立病院機構東京医療センター
委員	小宅 比佐子	前国立精神・神経医療研究センター
委員	岸田 浩	(独)医薬品医療機器総合機構
委員	木下 忠雄	西武学園医学技術専門学校
委員	関口 久紀	前(社)日本病院薬剤師会
委員	濱本 洋子	国立看護大学校
委員	松尾 直文	(公社)地域医療振興協会

(2)国際会議等出席支援事業

平成27年度の国際会議等出席支援事業については、9件の応募があった。
平成27年6月9日(火)開催の国際会議等出席支援事業選考委員会において、
9件のうち6件を平成27年度の国際会議等出席支援事業として決定し、助成した。

平成27年度国際会議等出席支援事業選考委員会

委員長	毛利 昌史	大坪会東和病院
委員	牛島 康榮	目白大学 岩槻キャンパス
委員	金澤 紀雄	前(独)国立病院機構高崎総合 医療センター
委員	高橋 俊毅	横浜市病院経営局
委員	西牟田 敏之	前国立病院機構下志津病院
委員	埜中 征哉	(独)医薬品医療機器総合機構
委員	矢野 真	日本赤十字社

(3) 出版事業(医療の広場)

出版事業については、月刊誌「医療の広場」を国の医療政策として行う医療情報の提供並びに国立ハンセン病療養所、国立研究開発法人国立高度専門医療研究センター及び独立行政法人国立病院機構における研究活動、各種学会発表による業績の紹介、患者サービスや感染症に対する改善事例等を医療関係者に情報提供誌として発刊した。

外国人用診療ガイドの第三版を新改訂版として12カ国語を掲載し、医療機関のみならず行政機関等を含め幅広く販売した。

(4) 医療関連監修事業

医療機関における患者サービスの一環として、テレビ掲示板により外来待ち時間を利用した医療情報の提供を行っているが、同時に健康講座等の情報なども提供している。当財団では、幅広い分野にわたり、個人の健康、疾病に関するコンテンツを監修し保健医療に対する啓蒙、普及に努めている。

(5) ボランティア支援事業

患者の療養環境におけるサービス等に対する支援を行うため、ボランティアの受け入れ体制が整備され継続的にボランティア活動が行われている施設に、その活動に関して生じる経費及び受け入れに伴う環境整備のための経費を支援した。平成27年度においては、重症心身障害児(者)施設、進行性筋ジストロフィ施設74施設、緩和ケア病棟69施設の合計143施設となり前年より27施設の増となって、各施設に対して(1施設8万円程度)支援を行った。

(6) 日本小児総合医療施設協議会事業

〔会議の開催〕

平成27年6月4日 日本小児総合医療施設協議会役員会
成育医療研究センター会議室

平成27年11月19日 日本小児総合医療施設協議会役員会
オークラホテル 丸亀

平成27年11月20日 日本小児総合医療施設協議会総会
国立病院機構四国こどもとおとなの
医療センター

施設長部会、事務部長部会、看護部長部会、薬剤部長部会の各部会にあつては、適宜部会を開催した。

〔施設調査の実施〕

全小児総合医療機能調査、各施設における毎年の施設充実度を情報共有する意図として、年間調査を実施した。

また、社会保険診療費の改定要望書作成のための資料作成に関係し、随時施設機能調査を実施した。

会員の入退会等会員管理及び会費の徴収事務を実施した。